

2014年11月26日

創業以来「より良い家を、より多くの人に、より合理的に」
を理念にお客様に住まいを提供し続けて30年 住宅FC No. 1※の

アイフルホームが創業30周年で 累計契約棟数15万棟を突破！

株式会社LIXIL住宅研究所
アイフルホームカンパニー

株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー（住所：東京都江東区／代表取締役兼プレジデント：今 城幸）は、1984年5月の創業から30周年を迎えた今年の10月末日で、累計契約棟数15万棟（受注ベース）を突破しましたのでお知らせします。



商品変遷（外観イメージ）

＜左より、1984年発売「ベーシック」、1996年発売「パラス」、2008年発売「セシボ」＞

1984年5月15日に事業を開始したアイフルホームは、木造軸組工法による住宅のフランチャイズシステムを日本で初めて事業として取り組み、以来、「より良い家を、より多くの人に、より合理的に提供する」との理念を掲げ、お客様にとって良い家づくりのお手伝いを続けてきました。

アイフルホームの「EYEFUL」は、「一目で見渡せるもの」「よく見える」という意味です。これは住まいの「品質」と「価格」、「保証」をお客様によく見えるものにしたいという当社の姿勢を社名にした創業以来のテーマです。それまでの業界の不透明性を革新し、お客様が安心して住宅を購入できる仕組みを創り、アイフルホーム独自の低価格住宅市場を創造しました。誰もが手に届く住宅の合理的な「価格」を追求しながら、「品質」と「保証」の面においてもゆるぎない自信を持っているからこそ貫くことができるアイフルホームの家づくりの姿勢です。

この考えのもと、創業から10年間は「価格革命」への挑戦として、常に品質向上を図ると共に、お求めやすい価格で提供する、という基本姿勢で展開してきました。

10年目からの10年間は、1996年の商品「パラス」の発売を機に「より高い安全性の確保」をして信頼性を強化してきました。住宅性能の向上はもとより、消費者保護の視点に立った「完成引渡保証」「地盤生涯保証」「第三者機関の検査」「所得補償」「60年長期定期点検」「60年継続保証」など様々な保証制度を充実させ、安全・安心の家づくりを進めてきました。

そして20年目から10年間は、大規模な地震を踏まえ、お客様にさらなる安心をご提供するため、2005年に「テクノスター金物」を導入、2006年に「耐震補償制度」を導入し、地震に対する建物の信頼性を強化する取り組みを進めてきました。

2007年からは、さらなる商品力の強化や顧客サービスの一層の充実を目的として、住生活グループ（現 LIXILグループ）傘下の木造軸組住宅FC会社4社を統合し、株式会社トステム住宅研究所（現 LIXIL住宅研究所）を設立。アイフルホームは新たな体制で、お客様の住まいづくりのお手伝いをさせていただくこととなりました。

2008年よりアイフルホームは『住まい価値革命』への挑戦として社内シンクタンク「キッズデザイン研究所」を創設。当時、社会問題となっていた少子高齢化問題、地球環境問題などを「8つの社会問題」と定義。これら社会問題に対し「家」でできることを考え、定期的に「コンセプトホーム」による実証実験、商品開発に取り組んできました。そのひとつの答えとして、『家+庭=家庭』の考え方から、家と庭を一緒に考える新たな住まい提案としてコンセプトホーム「CH08 家+庭生活」を発表。ここで取り組んだ「家+電気自動車」の提案は業界初の事例として多くのメディアにて取り上げられました。以降、コンセプトホームでの実証実験の結果を踏まえ、時代の変化を先取りした提案を取り入れた新商品「セシボ」としてお客様へ提供してきました。

2011年の東日本大震災以降は、非常時だけでなく、平常時にも力を発揮する家として「レジリエンス住宅」を発表。大災害により電気やガスなどのライフラインが途絶えた状況でも自立できる家の提案は多くの方に共感いただきました。

今後も、『こどもにやさしい は みんなにやさしい』の“キッズデザイン”の理念のもと、子どもだけでなく、大人も、高齢者も含めたすべての人にやさしい住宅の開発に取り組み、お客様サービスの向上に努めるとともに、多様化するお客様のニーズに対応するため、新築住宅だけでなくリフォームやリノベーション、中古流通も見据えた「ワンストップハウジング」を確立し、お客様の安全・安心、健康、快適に配慮し、品質、保証、コストパフォーマンスにも優れた住まいづくりに取り組んでいきます。

●15万棟達成までの経緯は以下のとおり

1984年5月	アイフルホーム設立
1991年8月	累計契約棟数1万棟達成
1997年9月	累計契約棟数5万棟達成
2004年6月	累計契約棟数10万棟を達成
2007年7月	株式会社トステム住宅研究所アイフルホームカンパニーとして始動
2008年4月	新商品「セシボ」発売
2008年7月	初のコンセプトホーム「家+庭生活CH08」を発表
2009年4月	25周年記念新商品「セシボ・アニバーサリー」発売
2010年10月	ネット限定商品「ネットで楽しい家づくり web housing」の「i-Prime7」発売
2011年4月	株式会社LIXIL住宅研究所へ社名変更
2012年3月	本格的にリフォームサービスを開始
2012年4月	次世代制震システムEVAS（イーバス）を導入
2012年5月	累計契約棟数14万棟を達成
2013年10月	大震災を教訓とした新提案 電気、ガス、水道等の供給が長期停止する大災害などの非常事態でも 約1ヶ月間日常に近い生活が可能な家「レジリエンス住宅CH14」を発表
2014年6月	アイフルホーム全商品に「レジリエンス仕様」を追加
2014年10月	累計契約棟数15万棟達成

※住宅FC No. 1については、住宅産業研究所調べの資料に基づきます。

【報道関係者のお問合せ先】

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当：千明
電話：03-5626-8251 メール：chigirak3@lixil-jk.co.jp
アイフルホームホームページ/TOP URL：<http://www.eyefulhome.jp/>

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。